

1 試験区分等

試験区分		採用予定数	受験資格年齢 (令和7年4月1日時点)
事務		220人程度	22歳から30歳まで
社会福祉		65人程度	22歳から30歳まで ※1
心理		25人程度	
土木		40人程度	22歳から30歳まで
建築		10人程度	
機械		10人程度	
電気		10人程度	
農業		数人	
造園		5人程度	
環境		数人	
衛生監視員		8人程度	
保健師		20人程度	
消防	【一般】	35人程度	22歳から30歳まで
	【専門】	数人	
消防(救急救命士)		10人程度	22歳から30歳まで ※1
学校事務		10人程度	22歳から30歳まで

※1 年齢要件のほかに免許・資格が必要となります。

受験資格や申込方法の詳細は、4月9日(火)から横浜市職員採用案内ホームページに掲載する受験案内で御確認ください。

※2 本試験に申込みをした方は、試験区分や受験の有無に関わらず、令和6年度に横浜市人事委員会が実施するその他の採用試験に申し込むことはできません(「障害のある人を対象とした横浜市職員採用選考」及び「横浜市育児休業代替任期付職員採用候補者選考」を除く。)

また、「令和6年度横浜市職員(大学卒程度)採用試験【春実施枠】」に申し込んだ方は、試験区分や受験の有無に関わらず、本試験に申し込むことはできません。

裏面あり

2 主な変更点

教養・論文を一部廃止し、チャレンジしやすい採用試験に！

教養及び論文試験を廃止する区分

社会福祉、心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、衛生監視員、保健師、消防【専門】

- ※ 技術系職種は令和5年度から教養を廃止しています。
- ※ 消防【専門】は従前より論文試験を実施していません。

試験科目

第一次試験 専門
第二次試験 面接等

論文試験を廃止する区分

消防【一般】

試験科目

第一次試験 教養
第二次試験 面接等

※ 事務、学校事務、消防（救急救命士）は例年通り実施します。

試験科目

試験区分	試験科目		第一次		第二次		第三次
	教養	専門	論文	面接	論文	面接	面接
事務	○	—	○	○	○	○	○
学校事務	○	—	○	○	○	○	
社会福祉、心理、土木、建築、 機械、電気、農業、造園、環境、 衛生監視員、保健師	—	○	—	○	—	○	
消防【一般】、消防（救急救命士）	○	—	—	○*	—	○*	
消防【専門】	—	○	—	○*	—	○*	

※ 消防（一般、専門及び救急救命士）は、第二次試験で面接の他、グループワーク、体力検査を実施